

2021年5月19日

DICグラフィックス株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20

ディーアイシービル

耐アルコール性・耐油性に優れた表刷りバイオマスグラビインキ「グロッサ® B M」 および高機能な抗菌ニスの販売を開始

—コロナ禍以降の生活様式に対応、パッケージ材料のサステナブル化にも貢献—

DICグラフィックス株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：甲斐敏幸）は、耐アルコール性や耐油性に優れた表刷りバイオマスグラビインキ「グロッサ® B M」を開発しました。さらに、インキに抗菌性を付与する高機能な抗菌ニスを開発し、両製品の販売を開始しました。今後は、日本国内での販売を拡大し2025年には販売数量1,000トン/年を目指します。

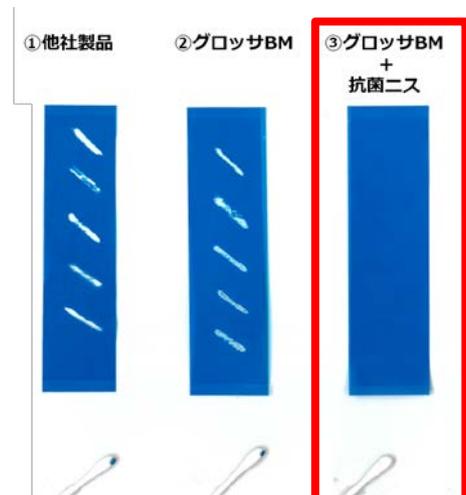
これまで、パンなどの食品包装フィルムに印刷されたインキがテーブルクロスなどに付着するといった事象があり、当社はバターやマーガリンなどの油類や、アルコール除菌剤などのアルコール成分がインキの付着を促す要因の一つと推定し、印刷インキの耐性を高める研究を進めてきました。さらに、コロナ禍以降の生活様式に対応するため、アルコール耐性が高く、耐熱・耐油性にも優れた抗菌ニスの研究も同時に進め、このたび両製品の開発に成功しました。

印刷インキの耐性を大幅に向上させた「グロッサ® B M」シリーズは、機能面だけでなく環境面に配慮したサステナブルな素材として植物由来の再生可能原料を含有しており、一般社団法人日本有機資源協会が認定する「バイオスマーク※10%」を取得しています。そのため、表刷りバイオマスグラビインキ「グロッサ® B M」と高機能な抗菌ニスを組み合わせることで、お客様に「安全・安心」なパッケージ材料の提供が可能になります。

【耐アルコール性試験】

試験内容：

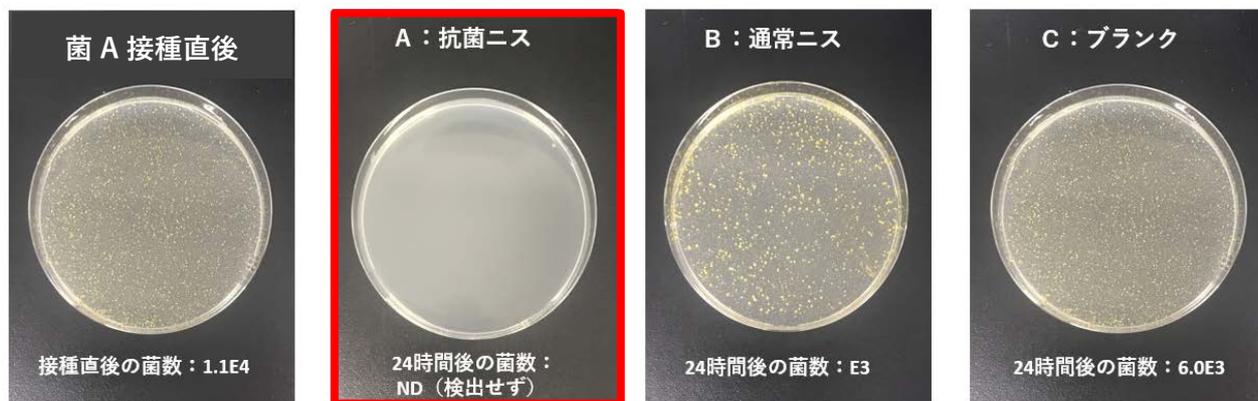
75%濃度のアルコールに浸した綿棒で白と藍色のインキを重ねた印刷面を擦り（25回往復）、インキの剥がれ具合を評価



【抗菌ニスの抗菌性試験】

試験方法：JIS Z 2801:2012 により評価

試験菌液接種量：菌 A^{*}0.4mL（^{*}薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）の関係上、特定の菌名を表記できないため「菌 A」と記載



※「バイオスマーク」とは、一般社団法人日本有機資源協会が認定するマークで、生物由来の資源（バイオマス）を利活用し、品質および安全性が関連法規、基準、規格などに合致している環境商品の目印（一般社団法人日本有機資源協会ウェブサイトより引用）



以上

【ご参考】

■ バイオマスグラビアインキ（フィナート BM、ライジン、グロッサ BM）ご紹介ページ

<https://www.dic-global.com/ja/event/packaging2021/ink/30.html>

■ 抗菌・抗カビコート剤、抗ウイルスコート剤ご紹介ページ

<https://www.dic-global.com/ja/event/packaging2021/ink/35.html>